

皮膚科

主な対象疾患

- ・アレルギー疾患：蕁麻疹、アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎（かぶれ）
- ・感染症：蜂窩織炎、带状疱疹、伝染性膿痂疹（とびひ）、白癬（水虫）
- ・自己免疫疾患：膠原病、水疱症
- ・皮膚腫瘍：良性・悪性の皮膚腫瘍
- ・血管・全身疾患関連：閉塞性動脈硬化症による皮膚潰瘍、そのほか内科的疾患に伴う皮膚症状



診療科の特徴

●的確な診断と「外科的処置」まで完結する体制

皮膚腫瘍に対し、ダーモスコピーや皮膚生検による精査を行い、良・悪性を迅速に診断します。悪性腫瘍の切除や皮弁形成術などの手術はもちろん、電気焼灼（ハイフリケーター）を用いた小さいいぼ等の簡便な切除にも幅広く対応しています。

●専門機器を駆使した「難治性潰瘍・多汗症」へのアプローチ

皮膚潰瘍にはSPP（皮膚組織還流圧）等の検査を行い、院内の血管外科・循環器内科と連携して治療にあたります。また、手足の多汗症へのイオントフォレーシスや、脇の多汗症へのボツリヌス療法、各種光線療法（エキシマレーザー等）など、専門的な治療設備を整えています。

●フットケア外来

糖尿病や虚血による足潰瘍に対し、医師の診察と看護師の専門ケア（爪切り、胼胝削り等）を行います。丁寧な指導で患者さんの意識も向上し、完治後の再燃減少に繋がっています。

地域医療機関の先生方へ：ご紹介時のお願い

- ・初診の患者さんは「午前中の外来（月～金）」へご紹介いただきますようお願いいたします。
- ・午後は、手術および専門外来（皮膚生検・処置・アレルギー検査等）を行っています。
- ・専門外来・フットケア外来をご希望の方は、まず皮膚科での診察が必要なため皮膚科へのFAX予約をよろしくお願いいたします。